

LIXIL ソルディーポート 柱移動 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>



注意

- 部材の固定
 - ・必ず指定の組立ネジを使用してください。また、施工後ネジにゆるみがないか点検してください。
- ※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- シーリングについて
 - ・指定の箇所に必ずシーリングをしてください。

<施工上のご注意>



ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行ってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付けは専門業者の方が行なってください。
- 間口柱移動（梁はね出し）は、1台、2台用（W54）まで施工可能です。
- はね出し寸法は間口30で最大2950mm、間口54で最大590mm（柱芯々）となります。
- 奥行柱移動は、積雪地域用3000タイプの3台用（W78）以外の、全タイプで施工可能です。
- 奥行柱移動で使用する柱移動桁の長さは最大で2800mmとなります。

■梱包明細表

【1】 梁はね出し梁キャップ240セット

名 称	略 図	員 数
梁端部キャップ240		左右各1

【2】 奥行柱移動部品セット

名 称	略 図	員 数
梁固定金具		1
梁固定金具裏板		4
梁固定アングルA		2
梁キャップ240		2
アンカー棒		1
【2-1】 M10×25 六角ボルト (平座金付・緩み止め付)		4
【2-2】 M10×40六角ボルト		4
【2-3】 M10×165六角ボルト		2
【2-4】 M10六角ナット		10
【2-5】 M10平座金		16
【2-6】 M10バネ座金		14
【2-7】 φ4×13ナベドリルネジ		4
取付説明書〈D569〉	—	1

【3】 奥行柱移動桁セット

名 称	略 図	員 数
柱移動桁		1
桁取付材		1

【4】 異形対応端部アーチセット

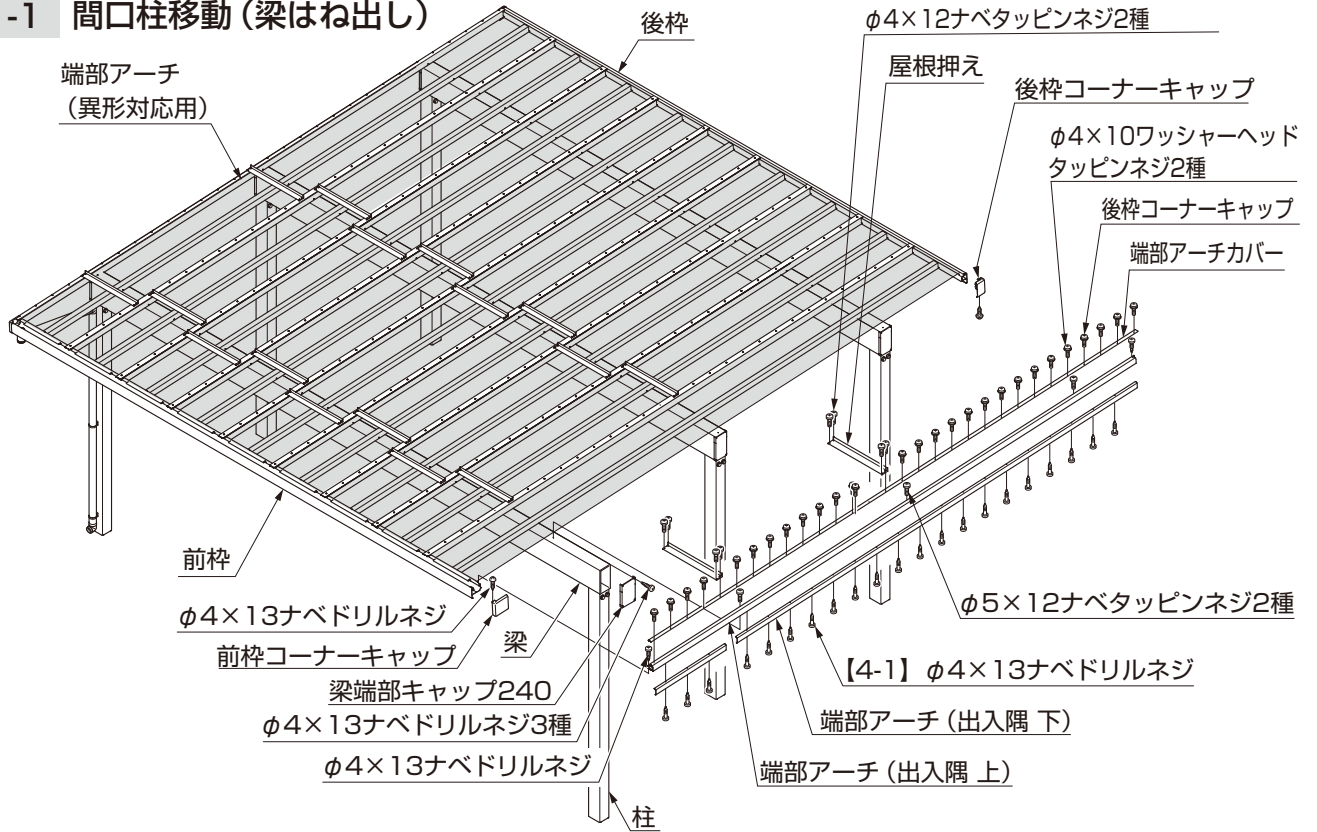
名 称	略 図	員 数
端部アーチ (出入隅用 下)		2
端部アーチ (出入隅用 上)		2
端部アーチカバー		2
【4-1】 φ4×13ナベドリルネジ		37
取付説明書〈D569〉	—	1

【5】 柱セット

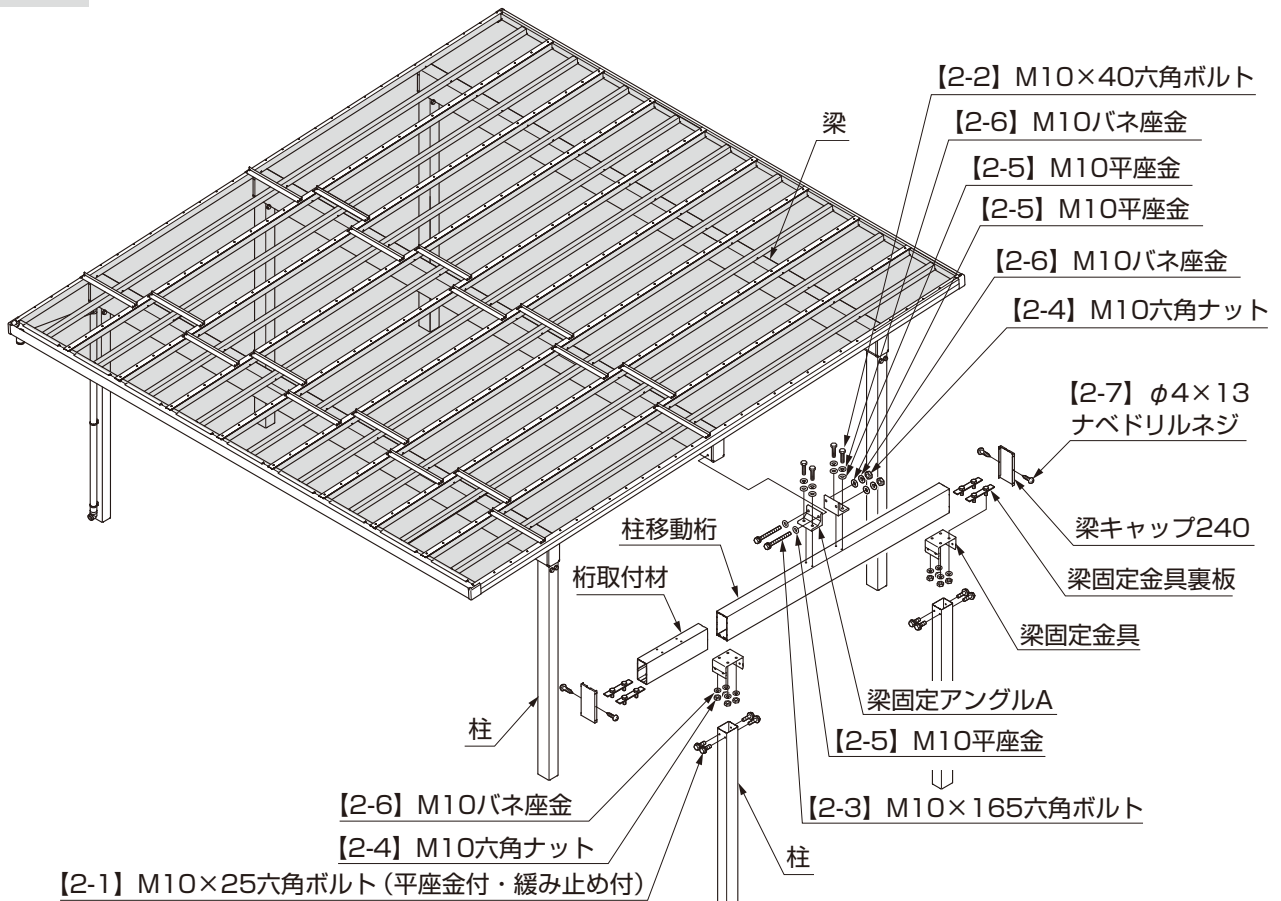
名 称	略 図	員 数
柱		1

1. 各部の名称

1-1 間口柱移動 (梁はね出し)

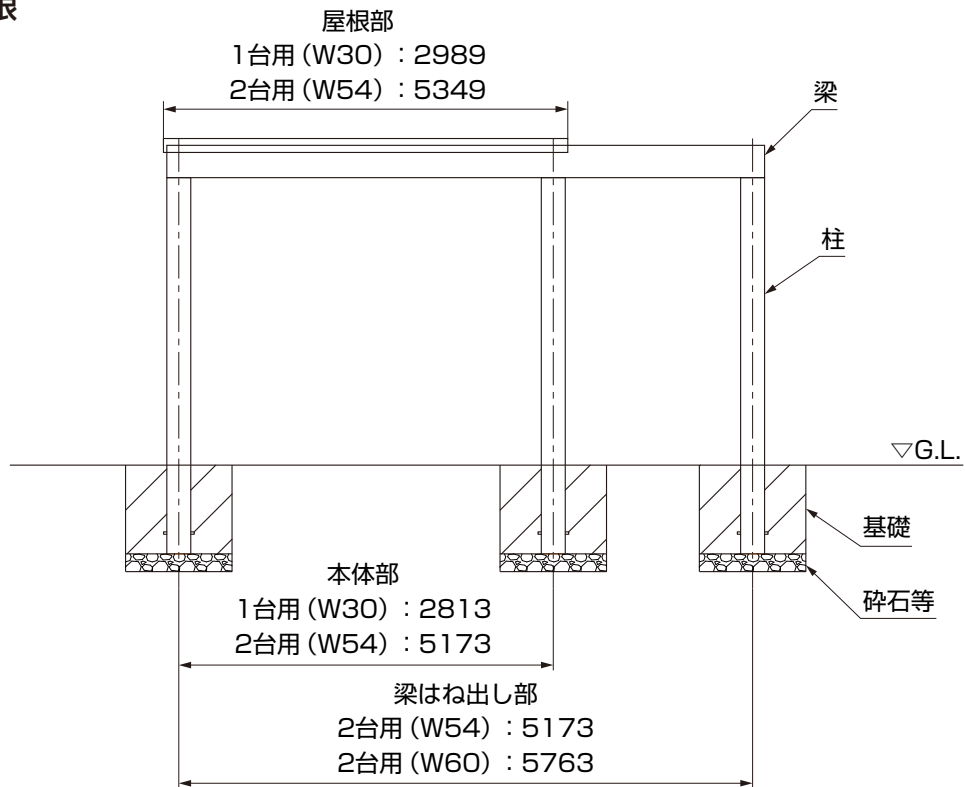


1-2 奥行柱移動



2. 間口柱移動（梁はね出し）の場合

2-1 施工制限

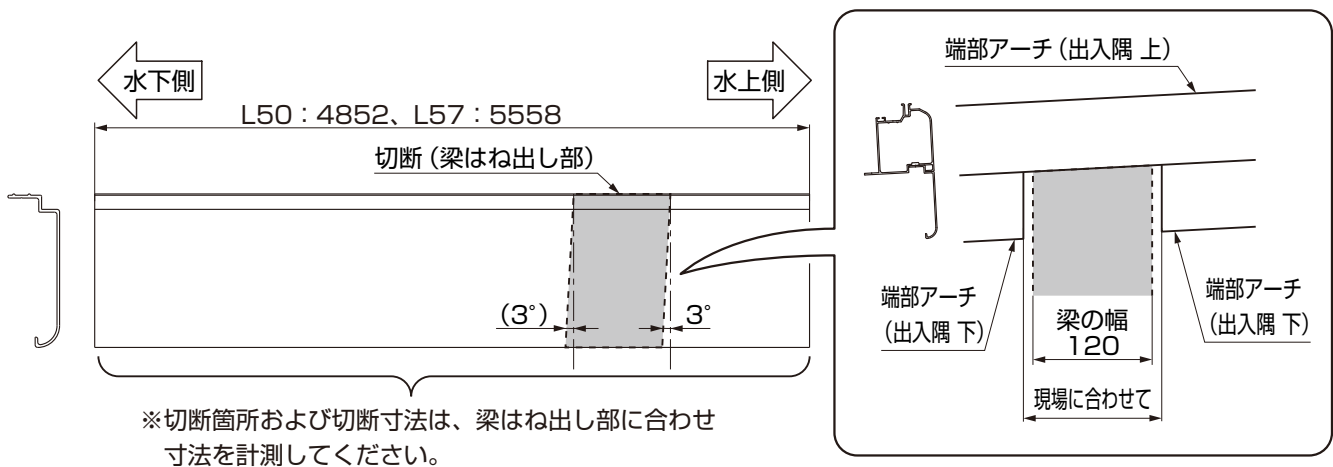


ポイント

- 間口柱移動は、本体部として1台または2台用 (W54) と、梁はね出し部として2台用の組合せで施工可能です。
- 基礎のサイズは「ソルディーポート 取付説明書〈D570〉」を参照してください。

2-2 部材の加工

(1) 端部アーチ（出入隅 下）の加工



- ①端部アーチ（出入隅 下）を梁はね出し部に合わせて切断加工してください。

ポイント

- 端部アーチ（出入隅 下）は、はね出している梁を逃がす箇所のみ切断します。切断せずに残した部分は全て使用します。

(2) 柱の加工

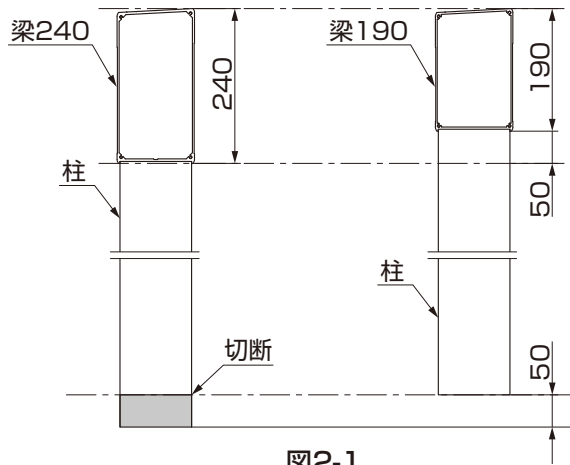


図2-1

表2-1

本体部-はね出し部	柱	切詰め
W30-W54	4本	不要
	6本	50
	8本	
W30-W60	4本	50
	6本	
	8本	
W54-W60	4本	不要
	6本	
	8本	

①切詰めが必要な場合は、柱を50mm切断してください。(表2-1参照)

ポイント

- はね出す梁高さが、本体部の梁高さより高くなる場合は、柱の切詰めが必要です。
- 切詰めを行なった場合は、アンカー棒の取付け穴を柱にあけなおしてください。
- はね出しにより、水下側の梁を190から240に変更した際、G.L.から梁下までの高さは標準柱の場合2300mmより50mm低い2250mmになります。

2-3 部材の組立て

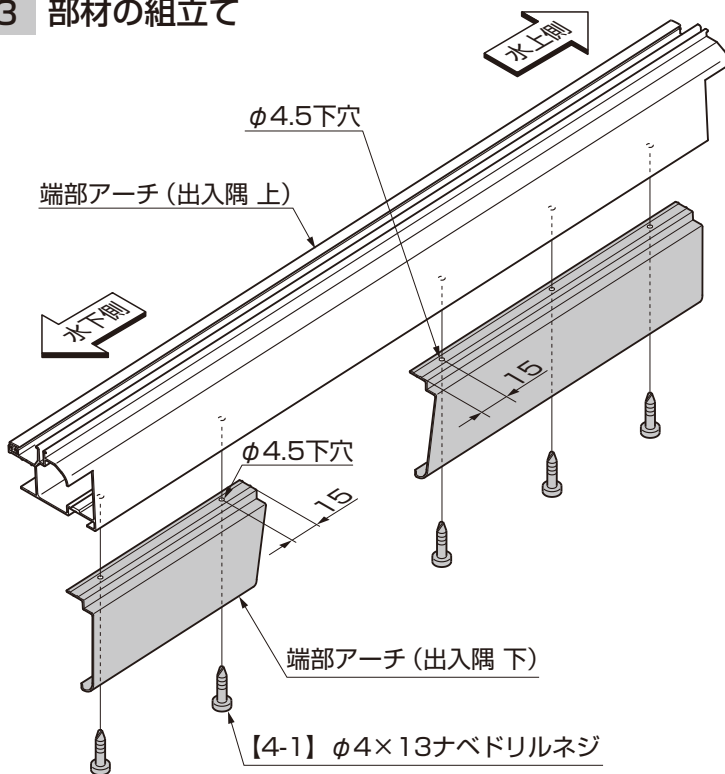


図2-2

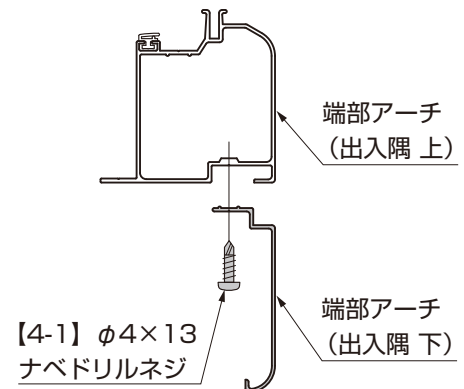


図2-3 端部アーチ (出入隅)

- ①φ4.5の下穴を端部アーチ (出入隅 下) にあけてください。(図2-2参照)
- ②端部アーチ (出入隅 下) を端部アーチ (出入隅 上) に【4-1】で取付けてください。

2. (つづき)

2-4 全体の施工

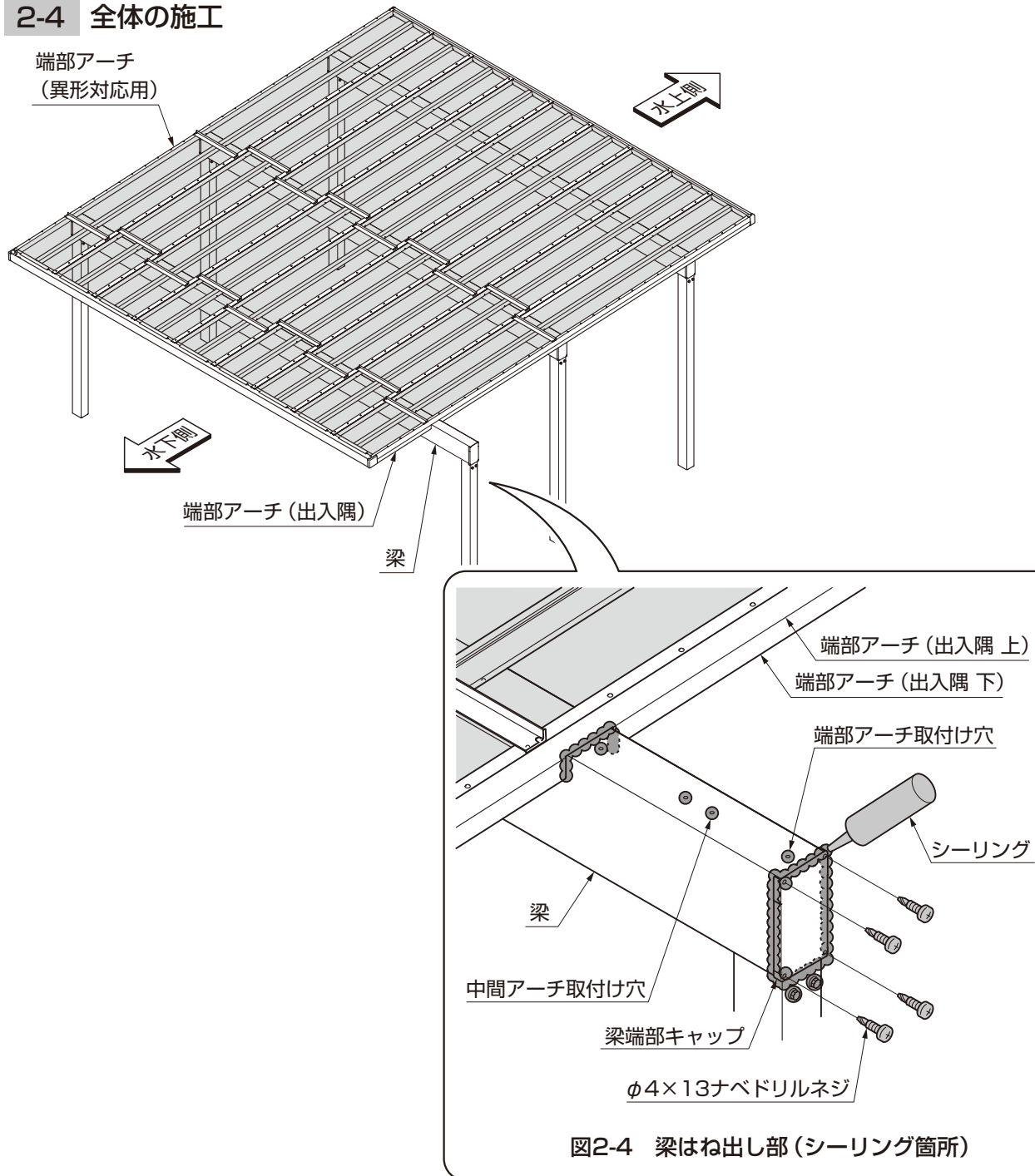


図2-4 梁はね出し部 (シーリング箇所)

① 「ソルディーポート 取付説明書〈D570〉」を参照し全体の施工を完成させてください。

ポイント

●端部アーチは、端部アーチ (出入隅 上下) を使用してください。

② 梁はね出し部にシーリングをしてください。(図2-4参照)

ポイント

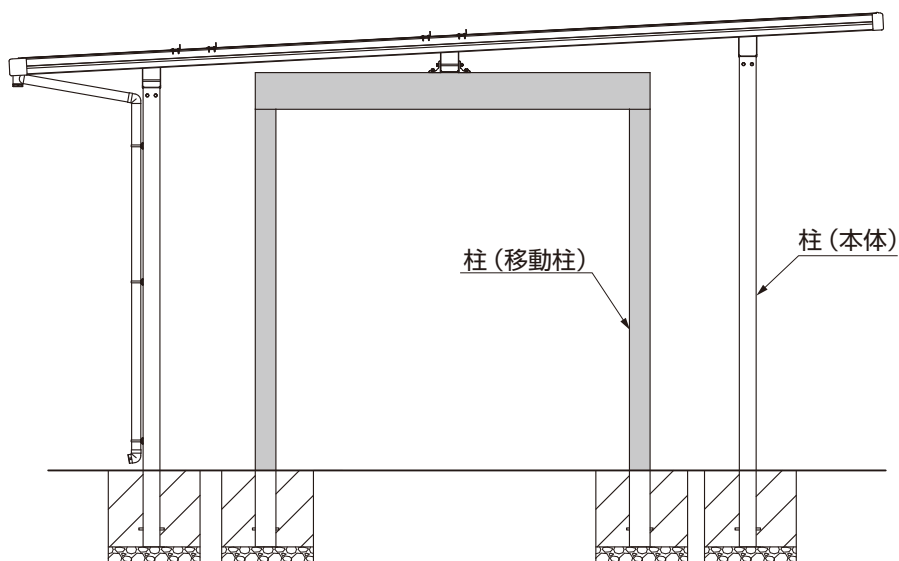
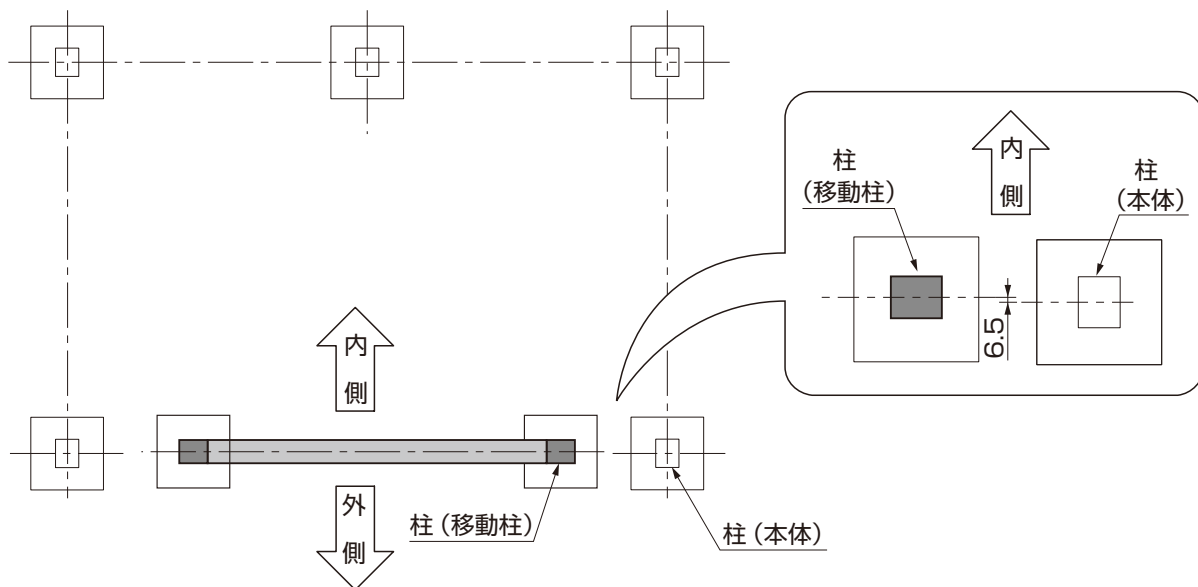
●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

3. 奥行柱移動の場合

3-1 基礎の施工 ※図は基本タイプ柱6本仕様の場合を示します。

ポイント

- 移動柱の基礎寸法も基本タイプと同様です。
「ソルディーポート 取付説明書〈D570〉」3 基礎の施工方法 1. 基礎の施工」を参照してください。



- ①図を参照して移動柱用の基礎位置を確認してください。

ポイント

- 移動柱の柱位置は、本体の柱位置より内側に6.5mm柱芯々がずれています。

3. (つづき)

3-2 施工制限

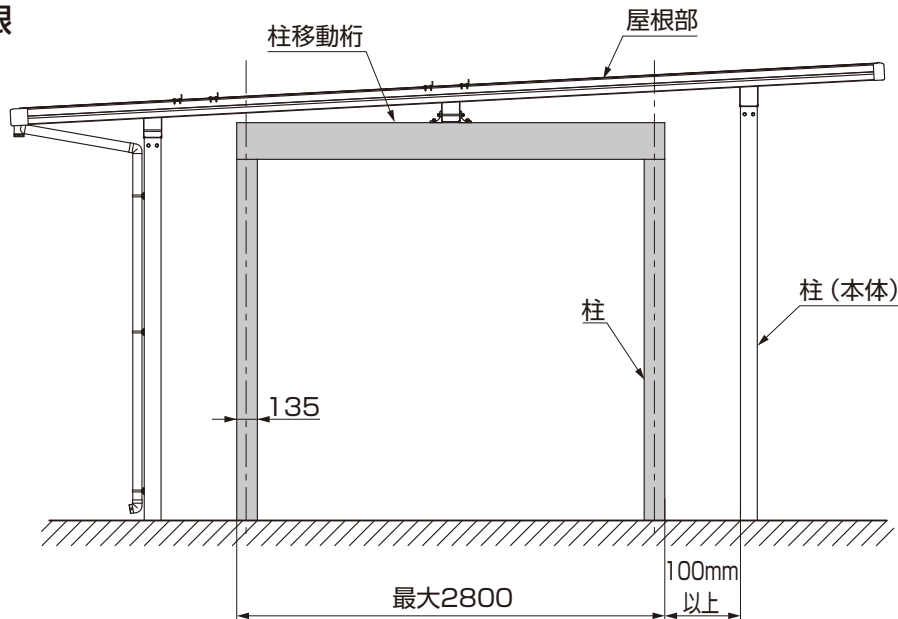


図3-1

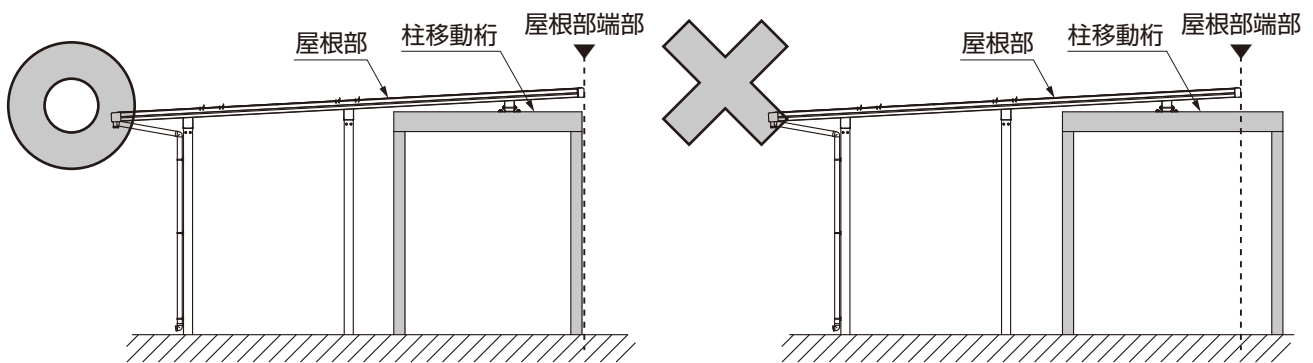


図3-2 柱移動桁と屋根部の位置関係（柱移動桁が水上側の場合）

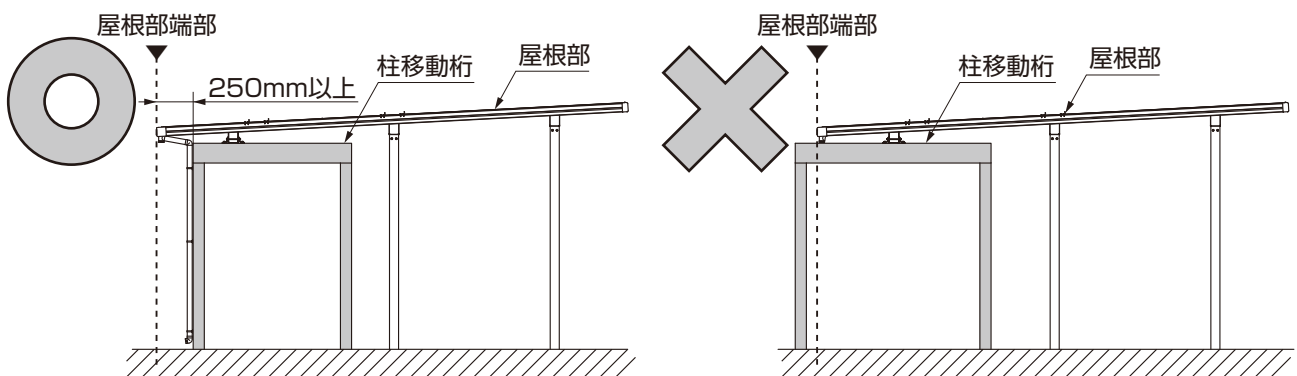


図3-3 柱移動桁と屋根部の位置関係（柱移動桁が水下側の場合）

ポイント

- 奥行柱移動は3000タイプW78以外のソルディーポート全タイプで施工可能です。
- 柱移動桁が屋根部より内側に納まるようにしてください。（図3-2参照）
- 水下側に柱移動桁がくる場合は、屋根部端部から250mm以上内側に収まるようにしてください。
- 柱移動桁の長さは最大で2800mmです。納まりに合わせて切断して使用してください。
- 柱と柱の間隔は100mm以上にしてください。（図3-1参照）
- 柱は、必ず柱移動桁の両端に取付けてください。また、梁の位置は必ず柱と柱の間にしてください。

3-3 部材の加工

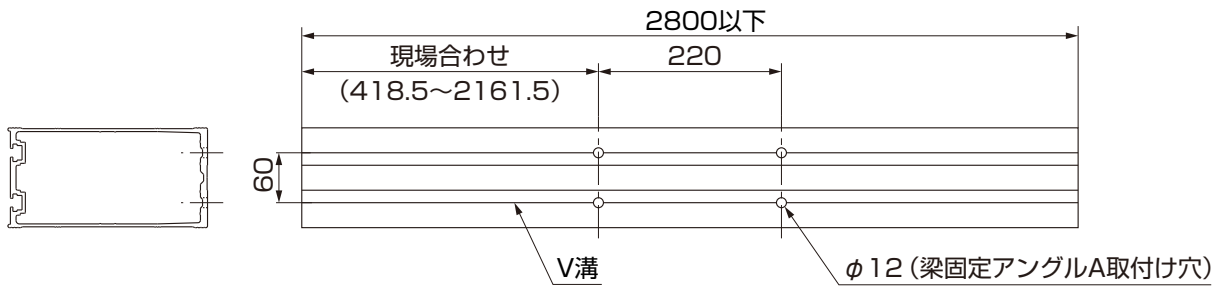


図3-4 柱移動桁

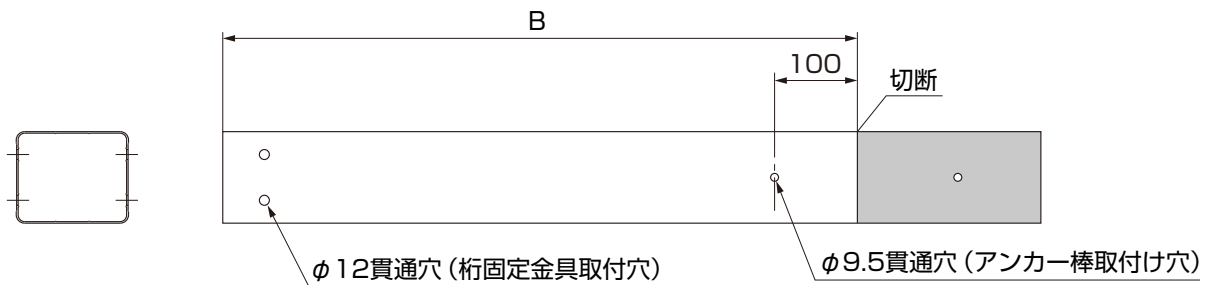


図3-5 柱 (柱移動桁取付け)

表3-1 柱切断寸法

標準柱 (H23)		B			
		水下	中間		水上
	水下		水上		
4本柱	L50	2563	-	-	2718
	L57	2563	-	-	2739
6本柱	L50	2563	2652.5	-	2741.5
	L57	2563	2655.5	-	2767.4
8本柱	L50	2563	2629	2694.5	2760
	L57	2563	2639	2715	2791

※ロング柱 (H25) は+200mm

※H30は+500mm

ポイント

- 柱移動桁が取付く柱2本のうち1本は、本体から拾い出した柱を使用します。
- 柱を切断せず埋込む場合は、無加工で使用してください。
- 柱を切断する場合は、埋込み深さ (ロング・標準 : 500、凍上 : 1000) をお守りください。

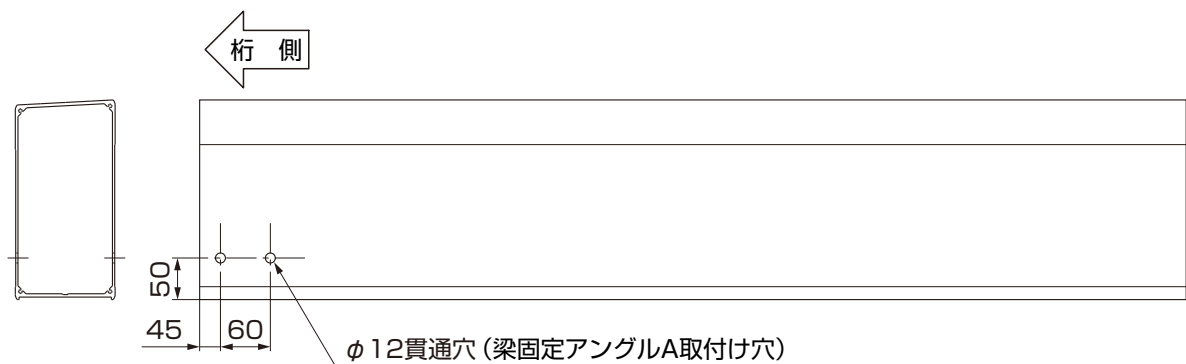
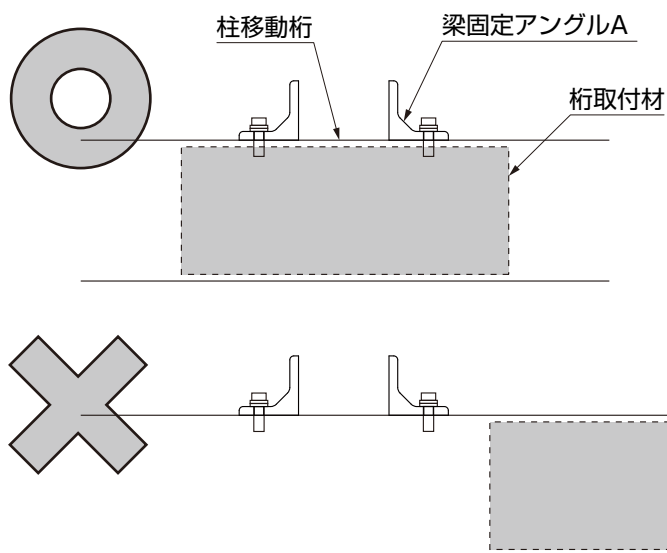
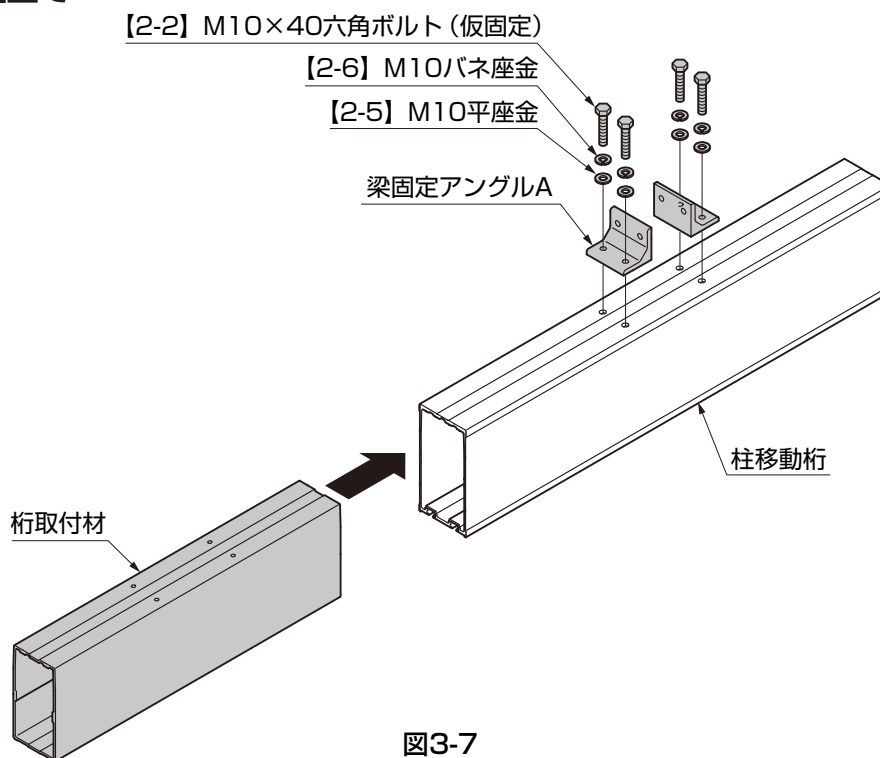


図3-6 柱移動桁と接続する梁

①部材を加工してください。

3. (つづき)

3-4 部材の組立て



①桁取付材を柱移動桁に挿入し、梁固定アングルAを柱移動桁に【2-2】、【2-6】、【2-5】で仮固定してください。

ポイント

●桁取付材は、柱移動桁、梁固定アングルAと共締めされていることを確認してください。共締めされないと、運搬の際に桁取付材が動き抜け落ちるおそれがあります。(図3-8参照)

3-5 桁部の施工

ポイント

- 本体部の梁を施工する前に行なってください。
- 本体部の施工は「ソルディーポート 取付説明書〈D570〉」を参照してください。

(1) 桁の取付け ※柱の埋込み後の作業です。

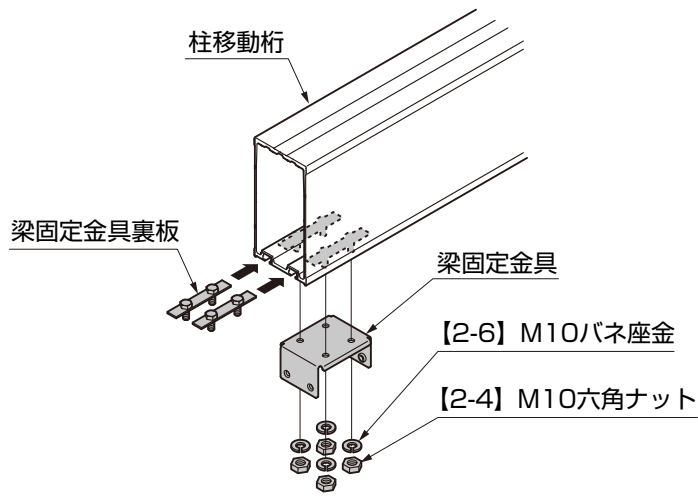


図3-9

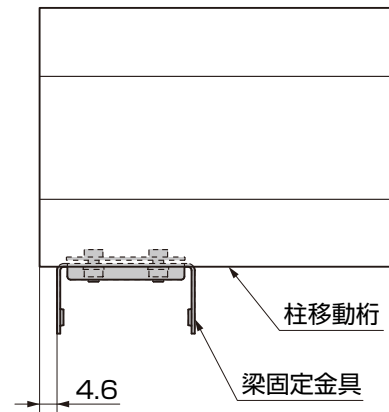


図3-10

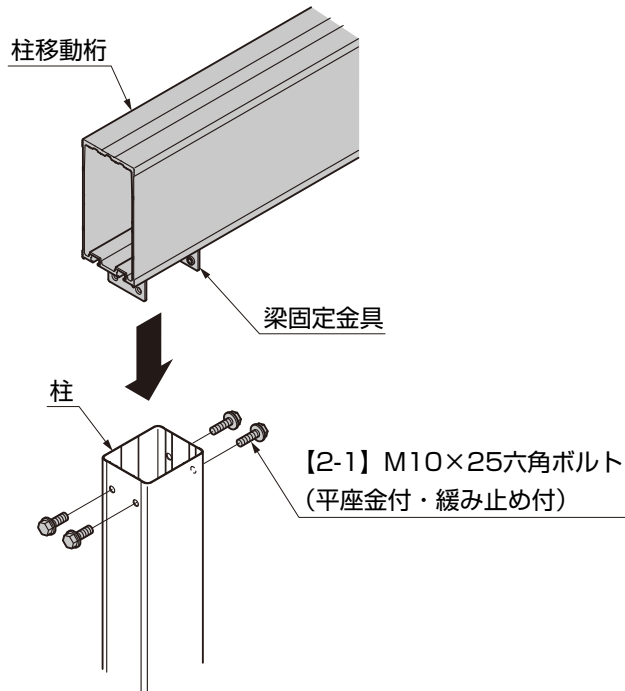
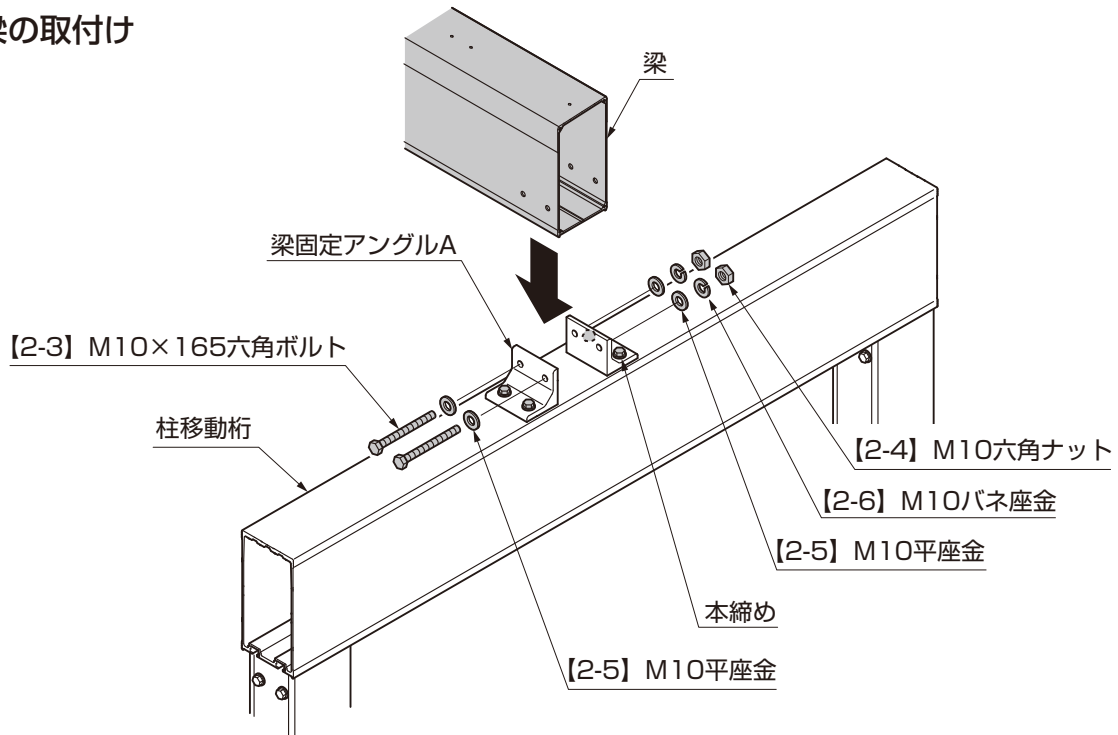


図3-11

- ①柱移動桁に梁固定金具裏板を挿入し、梁固定金具を【2-6】、【2-4】で取付けてください。
- ②梁固定金具を柱に【2-1】で取付けてください。

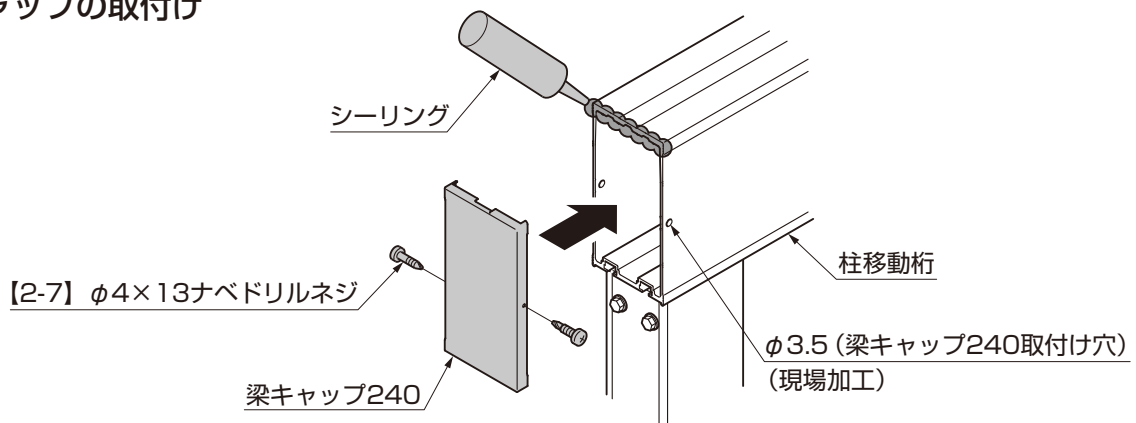
3. (つづき)

(2) 梁の取付け



- ① 梁を梁固定アンクルAに【2-3】、【2-5】、【2-6】、【2-4】で取付けてください。
- ② 梁固定アンクルAと柱移動桁を仮止めしているボルトを本締めしてください。

(3) キャップの取付け



- ① 梁キャップ240を柱移動桁に仮付けし、梁キャップ240取付け穴位置を確認してφ3.5の穴を加工してください。
- ② 柱移動桁の小口上部にシーリングをしてください。

ポイント

- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

- ③ 梁キャップ240を柱移動桁に【2-7】で取付けてください。

ポイント

- 以降の手順は「ソルディーポート 取付説明書〈D570〉」を参照してください。

取説コード

D569

JZZ624916C
201302A_1039
201607D_1039